



本市では、平成28年度に「認知症の人をみんなで支え合うまちづくり宣言」を行い、地域が一体となって、認知症の方を見守り、支え合うネットワークづくりを進めています。私も、認知症サポーターのひとりとして、サポーターの輪を広げていくとともに、認知症になっても住み続けられるまちづくりに取り組んでまいります。

9月8日 第29回青森県民文化祭 オープニングフェスティバル

芸術の秋、文化の秋を迎え、9月8日、第29回青森県民文化祭オープニングフェスティバルが、オルテンシアにおいて開催され、地元の小中学生と西北五つがる地域で活動されている合唱団による合唱や、五所川原高等学校音楽部、こども園をはじめ地域の皆さんご出演の音楽劇「時の空を操り命を守る未来の物語」が披露されました。今年、青森県民文化祭は、15の分野別フェスティバルが本市をはじめ西北五つがる地域を主会場に開催され、当地域が芸術文化に彩られるものと楽しみにしています。市民の皆さんには、この機会にぜひ足をお運びいただき、文化芸術に幅広く親しんで欲しいと思います。



9月15日 認知症フォーラム

9月15日、オルテンシアにおいて開催した認知症フォーラムでは、寸劇発表やブース展示、また、ここでしか見られない「認知症」をテーマにした金多豆蔵人形一座による津軽伝統人形劇などにより、多くの方にご来場いただきました。超高齢社会を迎え、高齢者の7人に1人が認知症と言われており、その数はますます増えることが予測されています。一方で、早期発見、早期治療による症状の緩和や、認知症サポーター、地域住民の理解と支えによって、これまでと変わらない生活を送ることもできます。私も、昨年、市長に就任してすぐに、認知症サポーター養成講座を受講しており、認知症サポーターの輪、そして認知症の方を支えるネットワークが広がることを期待しています。



9月22日 あおもり10市大祭典inつがる

9月21日、22日の2日間、つがる市において、県内10市の祭りとお食が一堂に会するあおもり10市大祭典inつがるが開催され、ご家族連れをはじめ多くのお客さんで賑わいました。本市からは、しじみラーメンや赤〜いりんごのフローズンなどが出展したほか、パレードでは中型立佞武多「不動明王」が出陣し、私も五所川原立佞武多の魅力をPRしてまいりました。初日は夜のパレード、2日目は昼のパレードと、異なる雰囲気の中での出陣となりましたが、両日ともお客さんからは一際大きな拍手と「ヤッテマレ、ヤッテマレ」の声がかかるなど、会場は熱気に包まれました。



弘前白神リトルシニア 全国大会で3位入賞



全国大会で3位入賞した選手の皆さん

7月25日～29日にかけて天童市スポーツセンター野球場（山形県天童市）を主会場として行われた、J A 共済トーナメント日本リトルシニア第10回林和男旗杯国際野球大会兼東北連盟創立45周年記念全国選抜野球

大会に参加し、3位に入賞した中学硬式野球チーム「弘前白神リトルシニア」の選手の皆さんが8月23日、市長を表敬訪問しました。

弘前白神リトルシニアには本市、つがる市、弘前市、中泊町、鱈ヶ沢町、深浦町の中学生が所属し、OBには西武・外崎修汰選手や八戸学院光星・下山昂大選手がいます。

チームに所属している山谷龍之介さん（五一中2年）は「今年、全国大会を経験できた。来年の大会に向けて頑張りたい」、越後谷優多さん（同）は「レベルの高い大会でプレーできた。その経験を生かして頑張りたい」、工藤秀太さん（五三中2年）は「少人数でも大人数のチームに勝てた。人数が少ない中で自分たちができることをしっかりしたい」、高橋佑輔さん（五一中1年）は「準決勝では代打で出場した。また、この大会に出場できるよう、練習を頑張りたい」と話しました。